

【大阪大学】

僕は、一年生の時はどこの大学で何学部を専攻するのか、等はほぼ決まっていませんでした。二年生の時に先生に勧められ、大阪大学工学部を志望することに決めました。その頃から大阪大学を意識するようになり、実際に学園祭に行った時に憧れが強くなりました。そして、必ず受かりたいという気持ちと本当にこの大学を受ける実力があるのだろうかという不安がありつつ第一志望にしようと決めました。

三年生になるまでは、受験のための勉強は特別何かをするわけではなく、日々の授業、定期テストを大事にして、今の自分の実力を把握するためにも模試は全力で取り組むぐらいでした。志望学科も決まってきた三年生になってから、11月末までは二次対策をしました。家では主に数学と物理をし、学校ではそれに加え化学と英語を授業でしました。数学と物理は大阪大学のレベルに近い問題集、英語は授業の二次対策プリントをしていました。12月に入ってからは、とにかくセンターの過去問、問題集を解きまくりました。センターの得点をあげるためには、得意な教科を伸ばすより苦手な教科を少しだけでも克服するほうが良いと思っていますので、数学と物理はほぼしませんでした。センターが終わってからは過去問を主に、配点が高い数学と理科の問題をやりました。

僕が受験勉強で大切にしていたことは、メリハリをつけることと参考書を買わずに済ませることです。メリハリを付けることでより勉強に集中できると思います。僕は休む時は思いっきり休んで、寝たいと思ったらすぐ寝ていました。そのため、勉強時間は短めでしたが、その分勉強するときは集中できました。また、参考書はほぼいらなと思っています。授業をしっかりと聞いて、問題集をするだけで十分だと考えています。英語の単語帳もユメタン1冊しか持っていませんが、様々な問題に触れるうちに二次で使えるぐらいの単語力はつきました。参考書は大体同じことが書いてあるので、買うとしても一冊でいいと思います。

センター試験は初めての知らない人に囲まれながら受けないといけない試験なので、前日のホテルや受ける直前までものすごく緊張すると思います。でも、最初の科目の地歴公民を解き始めるとすぐ緊張は解けるので、緊張して冷静に考えられなかったらどうしよう、とか全く考えなくていいです。当たり前の事ですがセンター試験で一番大事なのはマークミスをしたくないことです。大問ごとに確認するなどといった、絶対にマークミスがない対策も考えたほうが良いと思います。二次試験を受けるときにはメンタル面も大事になってきます。最後の記述模試が11月に終わるので、それ以降自分の実力を確かめる場がなくなります。だから二次の時には全国的な自分の位置は全く分からないし、受験会場の知らない人が皆賢そうに見えると思います。そこで精神面で負けないということは大事です。また、これで人生が決まる、とか考えるのもよくないです。僕は一科目目の数学で失敗し、二科目目の英語の時、ここで挽回しないと終わる、とか無駄なことを考えて途中まで集中できていませんでした。気が負いすぎるといつもならできることもできません。二次試験を受けるときは気楽に受けてください。

僕が合格できたのは一緒に勉強してきた仲間がいたからです。同じ思いで勉強してきた皆がいたからここここまでがんばれました。今ならわかりますが受験は団体戦です！みんなで頑張ってください！



【京都府警察官】

私が警察官になりたいと思ったのは高校一年生の三学期でした。元々、親が強く勧めていた看護師の道に進もうと考えていたのですが、自分は本当に看護師になりたいのか自問自答すると、将来看護師として働いている私の姿を想像できませんでした。それと同時にテレビ番組で女性警察官の方が活躍しているのを見て素直にかっこいいと思い、警察官に強く憧れを抱き、将来は警察官になりたいと思い始めました。

まず初めに私がしたことは情報収集です。採用試験の内容や流れ、警察の仕組み、何か資格は要るのかなど、細かく調べました。調べていくうちに、女性や子供など社会的弱者を狙った性犯罪やDV、ストーカー犯罪が年々増えている中で、まだ性の意味を知らない幼い子供にまで被害が及んでいることを知りました。これから明るく楽しい未来が待っていたはずなのに、一人の身勝手な行動のせいで、幼い子供たちの未来が消えかけたり、消えてしまったりしていないかと考えると、とても悲しくどうしようもない怒りがこみあげてきました。被害にあった人たちをそのようにさせたくない。明るい未来を守るために犯人を捕まえたいと思うようになりました。

情報収集を進めていく中、京都府警察本部が主催する、オープンキャンパスのような説明会があることを知り、直ぐさま申し込み、参加しました。初めて説明会に参加し、採用試験についての話を詳しく教えて頂きました。

採用試験の一次試験では筆記試験をするので、警察官になられた先輩方のアドバイスを聞き、一冊だけ過去問題集を買って、ひたすら解いて覚えるという方法で勉強しました。大学受験のようなとても難しい問題ではなく、高校三年間の授業で習う範囲が出るので、警察官を目指している人、目指そうと思っている人は今からでも遅くないと思います。ちゃんと授業を聞いてください。そして復習をしてください。また、作文試験もあるので日頃から日記をつけたりして作文能力を上げておくといいと思います。

次の試験では集団面接があります。京丹後警察署の方々に協力をしてもらい、面接練習を何度もしました。第一印象でほぼ決まると言われたので、大きな声で「失礼します！」や名前を言うのをたくさん練習しました。京都府警察官の集団面接試験で質問される内容は他県と違い、特殊ですが、ここではコミュニケーション能力があるかどうかを審査しているので、面接官と会話のキャッチボールができるようにしていれば大丈夫です。

警察官にとって特に大事な要素は体力です。もちろん体力テストもあります。私は小学校2年生から十一年間続けてきたバレーボールのおかげで体力には自信があったので、本番ではほぼ満点の成績を残せました。部活動に入っていない人で体力に自信のない人は日頃から体力向上を目指してトレーニングを頑張ってください。

最終試験は個人面接です。この時も、京丹後警察署の方々に本番さながらに面接練習をしてもらいました。ダメなところや良いところを指摘して頂いたおかげで、本番は緊張することなく臨めました。どんなことを訊かれるのか不安でしたが、一つ一つの質問にしっかりと答え、警察官になりたい思いを強くアピールできました。

そして私は、春から京都府警察官です。家族や友達の支え、先生方や京丹後警察署の方々の協力があり、最後まで諦めず夢を叶えることができました。たくさんの感謝を忘れずに、府民の安心安全な街づくりに貢献していきます。

